

# 防衛法

## 防衛法

仲野武志

### 担当編集から

法制面における一層の防衛論議の必要性が叫ばれる昨今の国際情勢にあって、これまで、学術的な裏付けとなる理論を体系的にまとめた文献は必ずしも多くはなかったように思われます。そのような中で刊行された本書は、外務省・内閣法制局の両方への出向経験を有する唯一の研究者による、骨太で本格的な体系書です。そして、行政法学を基点としながらも、テーマ上必然的に重要な関わりを有する憲法や国際法上の議論も縦横に扱い、それらを架橋する内容となっています。さらに、これまでの多数の政府見解を渉猟して法的に整理し、それらの前提を探究することにより統一的な把握を目指していることも、本書の大きな特長の一つと言えるでしょう。日本における、防衛に関わる精緻な法的議論のための礎を提供する、当分野の金字塔的業績となるのではないのでしょうか。(Y)

仲野 武志

### 法的議論の確かな礎となる体系書

外務省・内閣法制局への出向経験をもつ唯一の研究者がまとめた画期的な体系書。国際法・憲法・行政法の学説と政府見解を縦横に比較検討し、両者を架橋する。一問一答形式により、論点を明確化。

有斐閣

詳細を見る



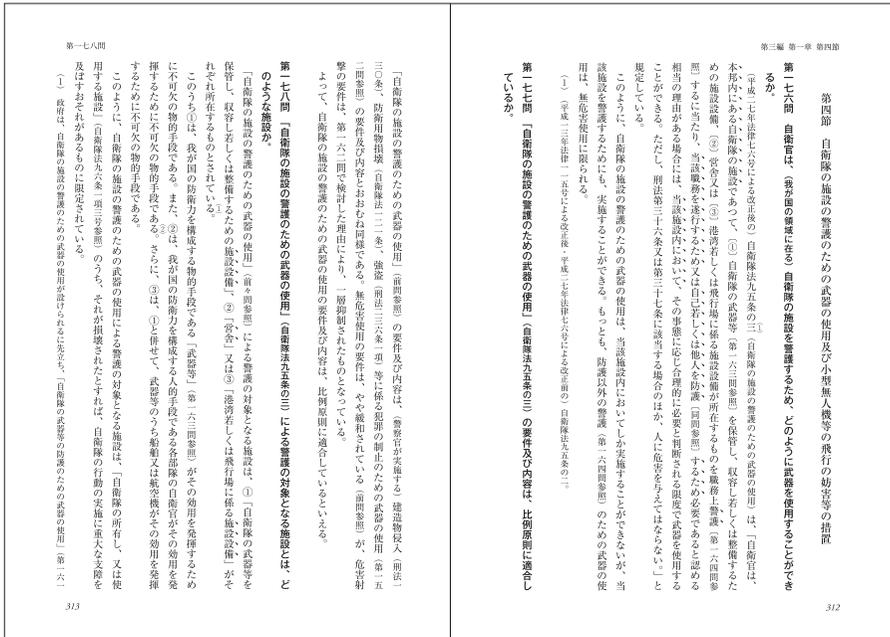
BOOK INFORMATION

レベル	用途	対象
上級	研究 実務	研究 法務

2023年3月発売 / 656頁 / 定価10890円(税込)  
A5判 / 上製

### Point

「問」とそれに対する解説を積み重ねることにより議論を明確化。



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

